

江の島・湘南港で バリアフリー実験

三浦氏ら車いす での移動を体験

公明党の三浦信祐のぶひろ参院議員は先ごろ、神奈川県藤沢市江の島にある湘南港で行われた、車いす使用時の浮き桟橋やスロープの安全性に関する実験に参加した。

【写真】。渡辺均ひとし県議、党市議団（塚本昌紀まさき団長）も同行した。

江の島は2020年の東京五輪・パラリンピックのセーリング競技開催地であることから、関連施設のバリアフリー化が急がれている。

一行は車いすに試乗し、岸と浮き桟橋を結ぶ連絡スロープの上り下りなどを体験。日本障害者セーリング協会の山本真也理事は、日本のマリナーはスロープの勾配がきつく、海外に比べてバリアフリー化が大きく遅れていると強調した。

三浦氏は「選手たちが最高のパフォーマンスを発揮できるように環境整備を進めていきたい」と語った。

